



# なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

## 2年分の思いを込めて

校長 山崎 薫

9月8日、9日と5年生は待ちに待った西湖宿泊体験学習に行ってきました。たいへん充実した学習となりましたことを、まずはお報告いたします。

現5年生は4年時に予定していた上郷宿泊体験学習が、まん延防止等重点措置期間であったため実施できず、とても辛い思いをしていました。それだけに、今回、「初めて」となる宿泊体験学習は何としても成功させたいという思いが子どもたちからも職員からも伝わってきていました。その思いが見えた取組を紹介します。

事前の取組で、子どもたちは4つのプロジェクトのいずれかに所属し、全員で行事を創っていくことをがんばっていました。

「しおりプロジェクト」は、富士五湖などの自然や体験学習で行う野外炊事などについて調べたことをわかりやすくレイアウトして、とても丁寧な字で一冊にまとめました。

「キャンプファイヤープロジェクト」は、ダンスやゲームの内容を考えたり、本番では司会進行をスムーズに行ったりしました。勢いよく燃えるファイヤーを囲んで、参加者全員が楽しい時間を共有することができました。

「運営プロジェクト」は、学年全員の意見を集約し、スローガン『みんなでスマイル最高な西湖へ思い出作りにさあ行こう！～支え合い・けじめ・協力～』を作り、全員の意識を高めました。しおりの表紙の裏にはこのスローガンに込めた思いや願いがしっかりと記されていました。また、事前、当日を含め、式関係の司会や進行を一手に引き受けていました。

「バスレクプロジェクト」は、行きのバスの車内を楽しい雰囲気してくれました。5種類のプログラムとビンゴゲームで、どの号車も盛り上がりました。バス酔いになってしまう子が一人も出なかったことが、楽しくできたことを物語っています。

当日の活動も立派な姿が多く見られました。青木ヶ原樹海では、各行動班内で樹海の成り立ちや見どころについて調べた子がガイド役となってメンバーに解説していました。例年は現地ガイドを頼むことが多いのですが、『自分たちで調べたことを仲間に伝えたり聴いたりすること』に私は意義を感じました。カレー作りは、家庭科の授業で調理実習ができなかった分を家庭での料理実践でご協力いただいたことで、スムーズでした。宿舎の方が活動時間の短さを心配していましたが、ふたを開ければ片づけを終えても15分以上の余裕が出ました。手際よく、協力し合いながら作ったり片づけたりしている姿が印象的でした。カヤックは無風のベストコンディションでの実施ができました。二人一組で漕ぐのですが、息が合わないと思うように進みません。しかしながら短い時間でコツをつかみ、上手に操れるようになった子どもたちの歓声が湖いっぱい広がっていました。二日間、思い切り楽しむとき（動）と、活動の区切りでしっかりと話を聴くとき（静）のけじめを全員が意識した行動をとることができていました。

たくさんの学びや経験を経て無事終了となりました。気づけば年度も折り返しを迎えています。今回見えた5年生の成長はもちろん、どの学年もさらなる成長を願っています。